

韓国でランピースキン病が確認！

今一度、発生予防を徹底しましょう！

韓国で、2024年12月以来、約1年7か月ぶりに、ランピースキン病の発生が確認され、その後も発生が継続しています。国内においても発生リスクが高まっています。

韓国におけるランピースキン病の発生状況

(2026年8月31日時点)

忠清南道

最新発生日：2026年8月7日

発生件数：1件

感染頭数：7頭

全北特別自治道

最新発生日：2026年8月26日

発生件数：3件

感染頭数：13頭

※ 2026年における初発日：7月10日

全羅南道

最新発生日：2026年8月21日

発生件数：5件

感染頭数：11頭

※ 2026年における初発日：7月31日

農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部プレスリリース、
KAHIS (Korea Animal Health Integrated System)

済州特別自治道

発生状況

	発生件数	殺処分 対象頭数
2023年	107件	6,455頭
2024年	24件	304頭
2025年	-	-
2026年	9件	-

■:2026年に発生が確認された行政区画
■:2024年に発生が確認された行政区画
■:2023年に発生が確認された行政区画

農家の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

- ☐ 飼養衛生管理基準の徹底をしましょう。
- ☐ 飼養する牛の健康観察を行い、異常を感じた際は、早期に家畜保健衛生所に連絡し、診療獣医師や人工授精師などにも情報を共有しましょう。
- ☐ 殺虫剤の散布とともに、粘着シートなども活用して感染源となる害虫（蚊、サシバエ、ヌカカ、マダニ等）を駆除しましょう。
- ☐ 衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に飼養する器具や畜舎等の消毒を行いましょう。



ランピースキン病

MAFF
農林水産省

Point

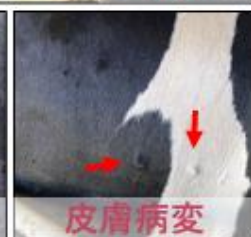
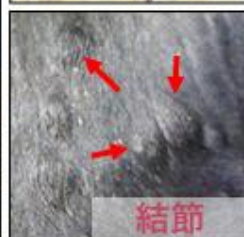
ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、サシバエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈します。本病は死亡率は高くなく、自然治癒しますが、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤、粘着シート、
IGR剤等も活用。



山梨県東部家畜保健衛生所

電話：055-262-3166 / FAX：055-262-3108

夜間の連絡先：090-5535-8005

土日・休日の連絡先：090-5535-8005 090-5544-7868